

2023年3月期 決算説明資料

ジオマテック株式会社
create coating solutions

2023年 5月15日

2023年3月期業績結果について

2023年3月期決算概要

当社は、2022年8月8日付で連結子会社であった吉奥馬科技（無錫）有限公司の全出資持分を譲渡したことに伴い、第1四半期累計期間までは連結決算でありましたが、第2四半期累計期間より非連結決算へ移行いたしました。本資料はすべて単体の数値（参考情報含む）で作成しております。

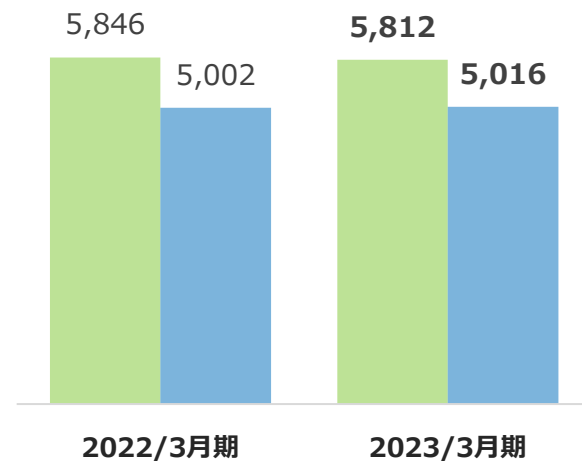
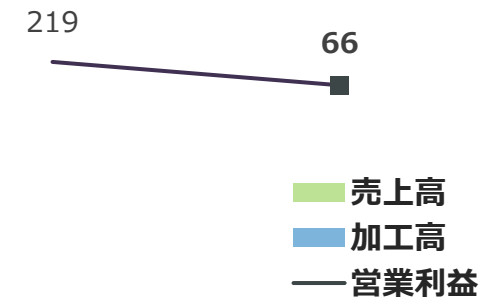
損益計算書

売上高	5,812 百万円
営業利益	66 百万円
経常利益	140 百万円
当期純利益	▲366 百万円

単位：百万円	2023年 3月期	2022年 3月期	前期比	計画比
売上高	5,812	5,846	99%	99%
売上総利益	1,428	1,638	87%	101%
販売管理費	1,362	1,419	96%	100%
営業利益	66	219	30%	132%
経常利益	140	328	43%	104%
当期純利益	▲366	▲528	-	-
EBITDA	430	436	99%	0.98
1株当たり 当期純利益（円）	▲46.27	▲66.78	-	-
研究開発費	303	294	103%	101%
設備投資額	299	1,187	25%	50%
減価償却費	364	217	168%	93%
加工高	5,016	5,002	100%	98%

※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上（付加価値収入）のことです。尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

売上高・加工高・営業利益



2023年3月期決算概要

貸借対照表

総資産	17,425 百万円
負債合計	7,291 百万円
純資産合計	10,133 百万円

単位：百万円	2023年 3月期	2022年 3月期	増減
流動資産	12,724	13,259	▲ 535
現金・預金	5,274	5,584	▲ 310
受取手形・売掛金	4,045	4,984	▲ 939
電子記録債権	560	530	30
固定資産	4,700	5,508	▲ 808
有形固定資産	2,586	2,646	▲ 60
負債	7,291	8,355	▲ 1,064
支払手形・買掛金	4,360	4,815	▲ 455
借入金等	2,077	2,154	▲ 77
純資産	10,133	10,412	▲ 279
総資産	17,425	18,768	▲ 1,343
自己資本比率	58.2%	55.5%	2.7pt
1株当たり純資産（円）	1,281.10	1,316.34	▲ 35

キャッシュフロー概要

単位：百万円	2023年 3月期
営業活動によるCF	306
税引前当期純利益	▲ 352
減価償却費	364
その他	294
投資活動によるCF	▲ 42
固定資産の取得	▲ 801
その他	759
財務活動によるCF	▲ 78
借入金の借入・返済	▲ 77
その他	▲ 1
現金等に係る換算差額	3
現金等の期末残高	5,774
フリーキャッシュフロー	264
NET CASH	3,697

連結子会社の持分譲渡

当社は、2022年8月8日付で連結子会社である吉奥馬科技（無錫）有限公司の全持分を譲渡いたしました。

1. 持分譲渡の理由

吉奥馬科技（無錫）有限公司は、2002年6月に設立し、主に液晶表示パネル用基板、車載機器用カバーパネル等の成膜加工を主体として、当社の連結子会社として事業を営んでまいりました。しかしながら、中国市場においてスマートフォン向け液晶パネル関連製品への需要低迷が継続し回復の見込みが厳しいこと、また、昨今の世界的な原油高、物価高の影響により日本経済も厳しい局面を迎えることが想定されていることから、今後の当社事業の方向性を勘案した結果、当社として経営資源を日本国内へ集中することが最優先であると判断し、今般、当社が保有する吉奥馬科技（無錫）有限公司の全出資持分の譲渡を決定いたしました。

2. 譲渡する相手会社の名称

厦門鐸龍投資管理有限公司

3. 譲渡の時期

持分譲渡契約締結日	2022年8月4日
持分譲渡実行日	2022年8月8日

4. 異動する子会社の名称、事業内容

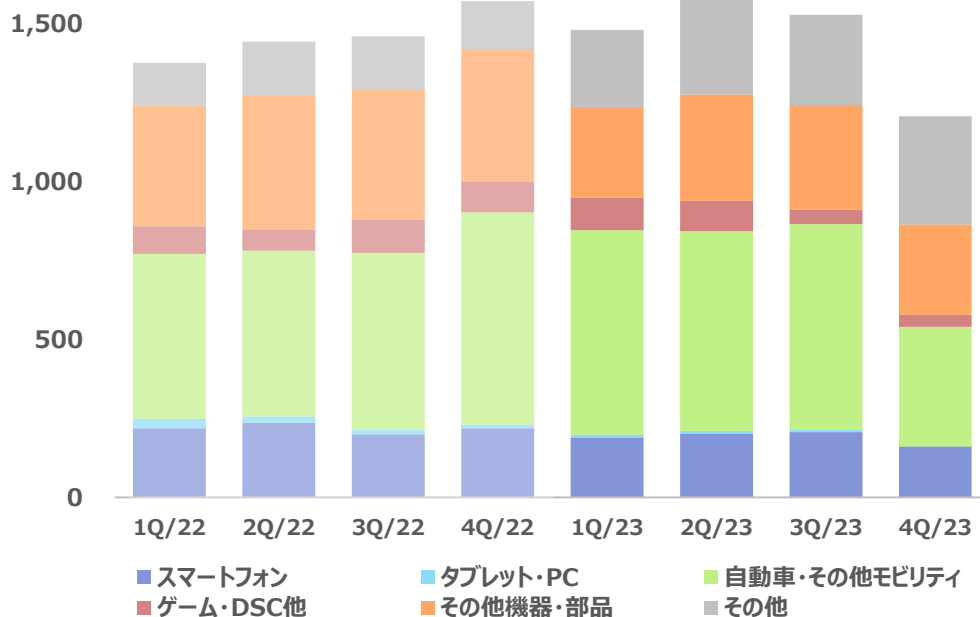
- (1) 名称 吉奥馬科技（無錫）有限公司
- (2) 事業内容 液晶表示パネル用基板、車載機器用カバーパネル等の成膜加工、関連製品の製造販売

5. 売却後の持分比率

売却後の持分比率 －％

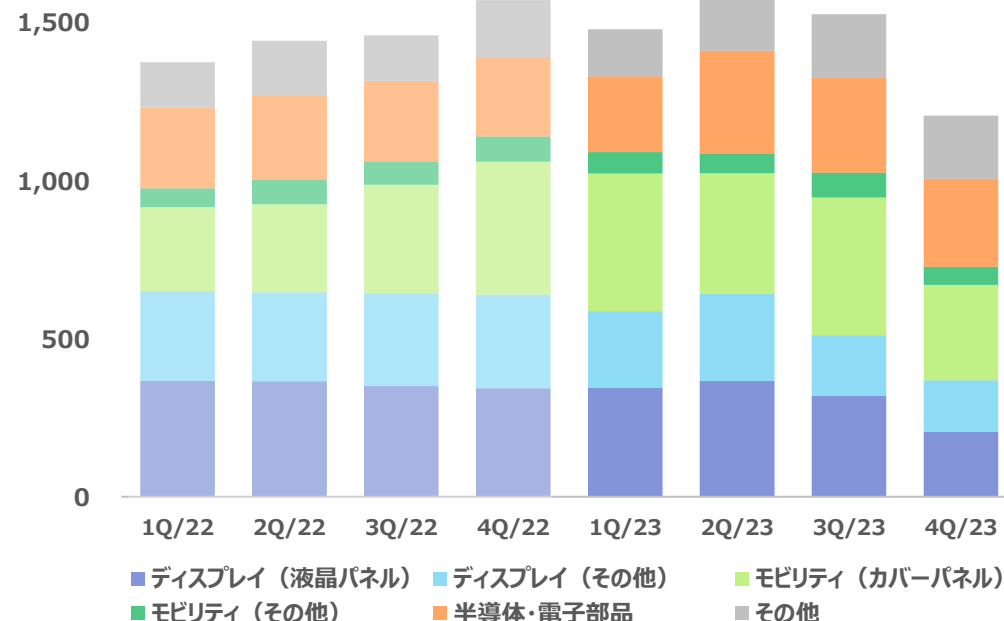
最終製品別売上高推移

単位：百万円



品目別売上高推移

単位：百万円



製品概況

ディスプレイ（液晶パネル）
ディスプレイ（その他）
モビリティ（カバーパネル）
モビリティ（その他）
半導体・電子部品
その他

（前期比87%）
（前期比75%）
（前期比119%）
（前期比92%）
（前期比112%）
（前期比115%）

スマートフォン向け液晶パネル減少
スマートフォン、タブレット・PC向けタッチパネル減少
自動車向け増加
g.moth減少
エネルギーデバイス、電子部品、半導体向け増加
成膜加工部材増加

2024年3月期業績見通しについて

2024年3月期 業績見通し

単位：百万円

	2024/3					2023/3
	通期計画	H 1 計画	H 2 計画	前期比		実績
				増減額	増減率	
売上高	5,800	2,600	3,200	▲ 12	▲0.2%	5,812
営業利益	10	▲ 250	260	▲ 56	▲84.8%	66
営業利益率	0.2%	▲9.6%	8.1%	-	-	1.1%
経常利益	40	▲ 230	270	▲ 100	▲71.4%	140
当期純利益	26	▲ 237	263	392	-	▲ 366

加工高	4,650	2,150	2,500	▲ 366	▲7.3%	5,016
研究開発費	330	-	-	27	8.9%	303
設備投資額	540	-	-	241	80.6%	299
減価償却費	390	-	-	26	7.1%	364

経営環境及び対処すべき課題

経営環境

当社主要分野の一つ液晶パネル関連製品の提供先であるスマートフォン市場において、製品のライフサイクル長期化に伴う市場全体の成長鈍化や、搭載ディスプレイパネルの有機 E L 化の加速により、液晶パネル関連製品の需要は低迷しております。

また、このような構造的な環境変化に加え、米中関係の悪化と世界的な半導体不足によるスマートフォン自体の減産、更にはウクライナ紛争や円安進行に起因するエネルギー及び原材料価格の高騰など、当社を取り巻く経営環境は一層厳しさを増している状況にあります。

対処すべき課題

このような経営環境の下、当社が認識している課題と対応策は、次のとおりであります。

1. 既存事業の強化

ディスプレイ、モビリティ、半導体・電子部品関連の 3 重点品目について、細分化して策定した商材戦略の着実な実行により、需要の発掘及び創造と競争力・収益力の強化を、能動的に進めております。

2. 新規分野の開拓

新規分野で伸ばすコア技術を創出する取り組みと共に、従来の部分加工受託で培った製造技術やノウハウに設備設計といったソリューションとしての価値提供による新たなビジネスモデルの拡張も進めております。

3. リソースの整備

製品化や品質管理のプロセス、更には個々人の業務分析から最適配置まで、全社生産性のワンランク向上の視点にて見直しを進めております。

4. 企業風土の改革

全社ベクトルを合せて上述の対策効果を最大化し経営体質を強化するために、現場での意識改革と同時に、全社員が生き活きと働ける環境を整えるべくマネジメント強化も併せた企業風土改革の取り組みを、継続して進めております。

- ・ **情報提供の目的**

当サイトの目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。掲載されている情報は、インターネット上で簡便にご参照いただくために作成されたものです。当社は細心の注意を払っておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当サイトのご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

- ・ **将来予測に関する考え方**

当サイトに掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。

- ・ **投資判断に対する考え方**

投資に関する最終的なご決定は、当サイトの情報に全面的に依存することはお控え頂き、ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。

- ・ **情報内容変更等の可能性**

当サイトまたは当サイト上のコンテンツは、予告なく変更、修正、削除、中断することがあります。当社は、サイトに掲載された情報を更新する義務を負うものではなく、その約束をするものではありません。当サイトのいかなる情報についても、常に最新情報に反映されるものでないことをご了承ください。